

基礎の断面図を作成する方法【基礎伏図】

文書管理番号：1147-02

Q. 質問

基礎の断面図を作成したい。

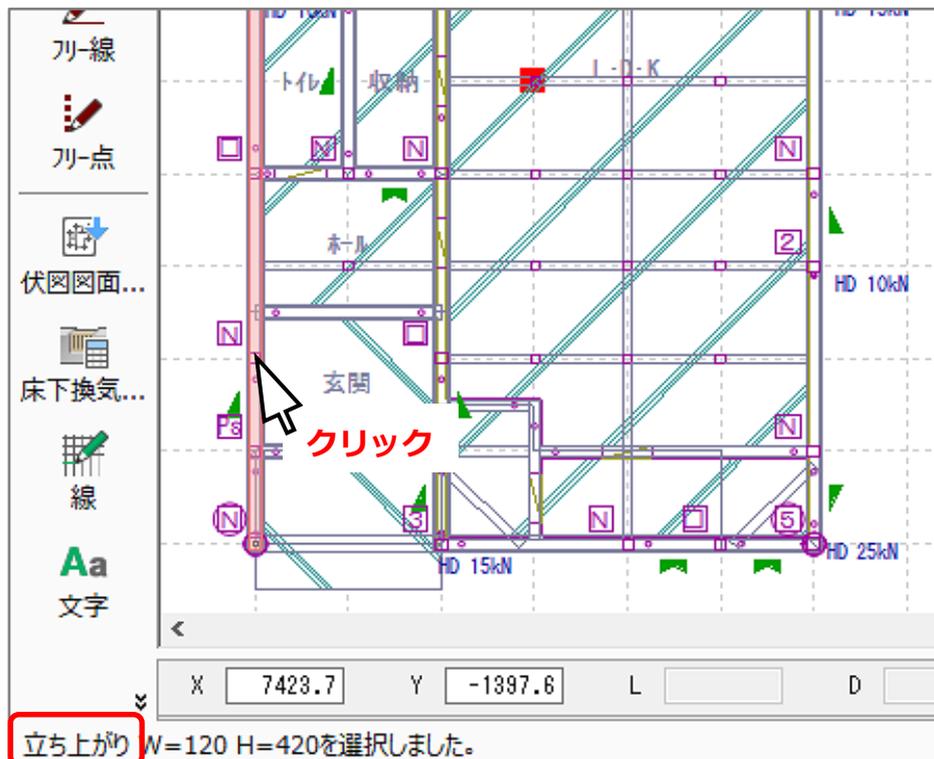
A. 回答

基礎伏図で基礎部材を配置後に、「ベタ基礎+ベタ基礎立上り」や「布基礎」の断面図を伏図上に配置したり、CADデータとして保存できます。

ここでは、 (基礎伏図)で基礎材配置後の操作から説明します。

操作手順

- ①  (基礎伏図)の  (要素選択)で、ベタ基礎の「立ち上がり」もしくは「布基礎」をクリック
 - * 「立ち上がり」もしくは「布基礎」が選択されていることを、画面左下のインフォバーの表示で確認してください。



インフォバーの表示で、選択部材を確認

【参考】

他の部材が選択されている場合は、キーボードの[Tab]キーまたは右クリックメニューの「次候補」で、選択する部材を切り替えてください。

重なった位置にある別の要素の選択方法については、こちらをご覧ください。

[\[1106\] 重なった位置にある要素の選択方法](#)

＜右クリックメニュー例＞



② 右クリックメニューから「断面図作成」⇒「配置」または「保存」をクリック



* 作業内容にあわせてどちらかを選択してください。

「配置」および「保存」についての詳しい操作は、P.3～4 をご確認ください。

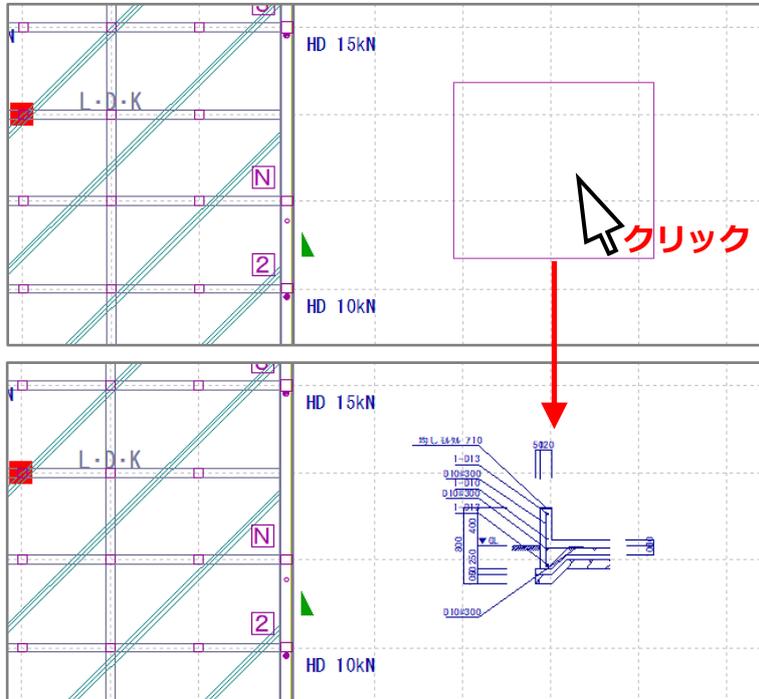
袖壁のベタ基礎の「立ち上がり」を選択しても、右クリックメニューの選択項目に「断面図作成」が表示されない場合は、こちらをご覧ください。

[\[1174\] ベタ基礎の断面図が作成できない場合](#)

● 配置

基礎の断面図を (基礎伏図)の画面上に配置します。

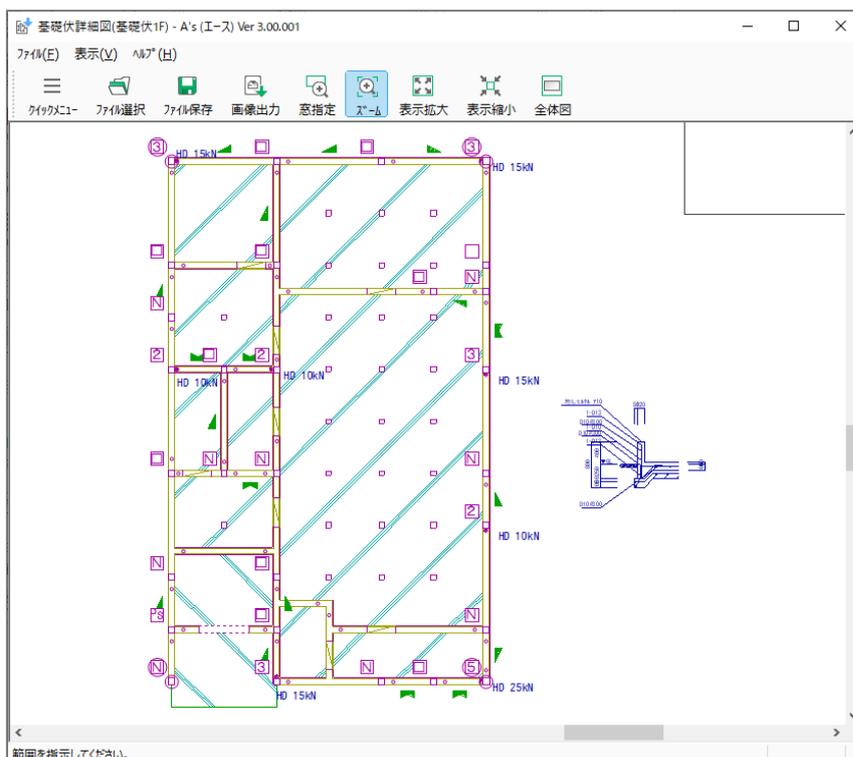
「配置」を選択すると断面図がラバーバンドで表示されますので、配置したい位置でクリックしてください。



* 配置した基礎断面図の寸法文字は、移動や編集が可能です。



(伏図図面出力)で基礎伏図と共に出力されます。

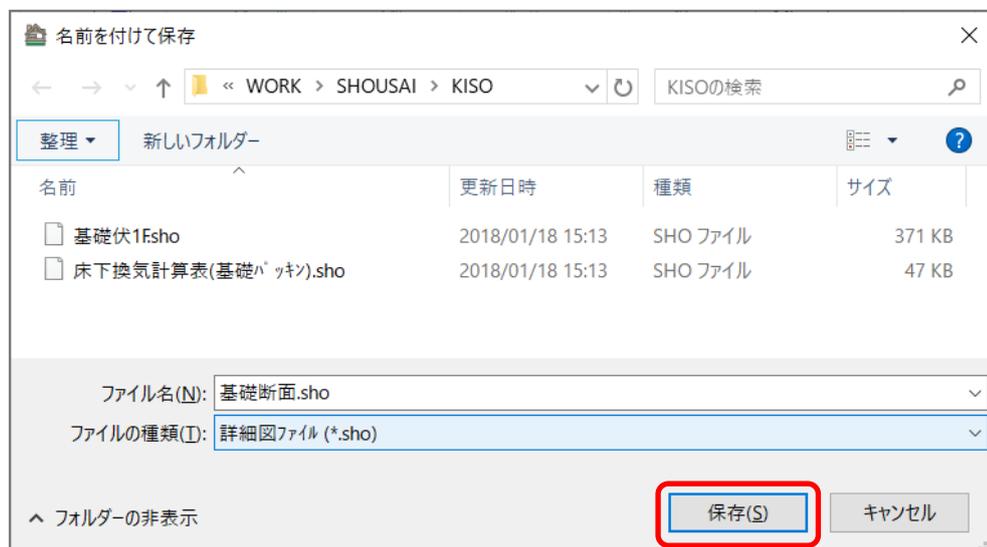


● 保存

基礎の断面図を CAD データとして保存します。

 (図面マネージャ)や  (図面編集)で縮尺を指定して読み込むことができます。

「保存」を選択すると「名前を付けて保存」の画面が表示されます。保存する場所、ファイル名、ファイルの種類を設定して「保存」をクリックします。



- *  (図面マネージャ)や  (図面編集)に読み込む場合は、保存する場所を変更せず、ファイルの種類は「詳細図ファイル」で保存してください。ファイル名は任意に変更してかまいません。

【参考】基礎の立ち上がり高さについて

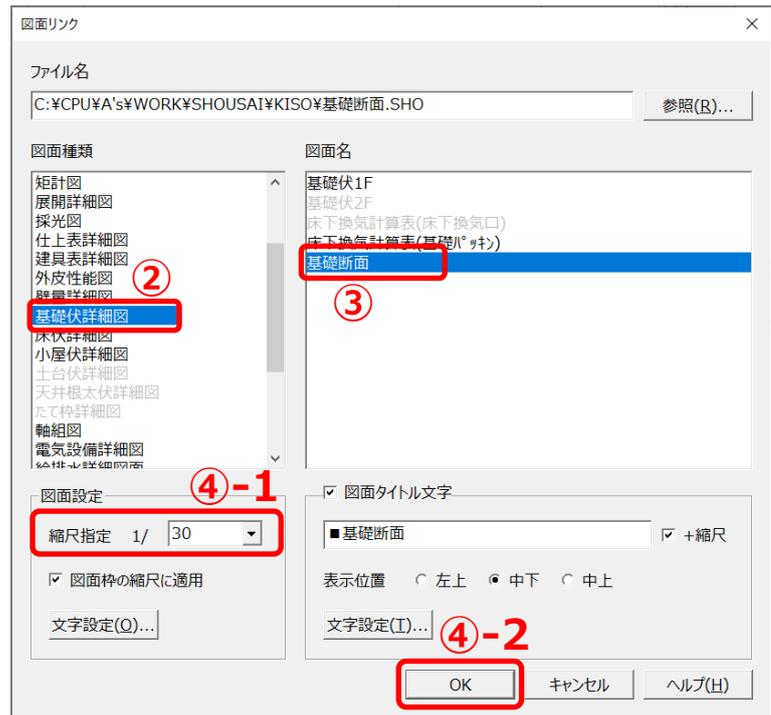
基礎の立ち上がり高さは、他のアプリケーションで設定している数値から自動で算出されます。

基礎の立ち上がり高さを変更したい場合は、こちらをご覧ください。

[\[1191\] 基礎の立ち上がり高さの設定【基礎伏図】](#)

<図面マネージャ>

- ① (図面リンク)をクリック
 - * 図面リンクの設定画面が表示されます。
 - * 「配置」⇒「図面リンク」をクリックしてもかまいません。
- ② 図面種類から「基礎伏詳細図」をクリック
- ③ 図面名から「基礎断面」(図面名称は任意)をクリック
- ④ 縮尺を指定して「OK」をクリック



- ⑤ 図面がラバーバンドで表示されるので、画面上に配置

